

凡例

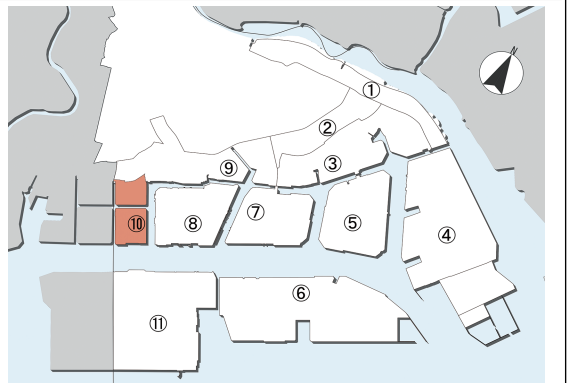
市域	国際戦略総合特別区域	バス停	警察署	避難所	製造 (石油・石油化学)	公共用地	その他	研究開発
対象地区範囲	都市再生緊急整備地域	鉄道駅	消防署	給水拠点	製造 (石油・石油化学以外)	物流	良好な戸建住宅地	
	特定都市再生緊急整備地域	横断歩道	便利施設 (コンビニ・売店等)	津波避難施設	リサイクル	エネルギー	公園等	
		工業用水道		帰宅困難者一時滞在施設				

SCALE 1/12000

0 100 300 500m

白石・大川町地区

10



横浜市鶴見区

JR鶴見線武蔵白石駅

- 鶴見線本線から大川支線へのほぼ90度曲がる急カーブ上に位置
- 大川支線に入る電車は、武蔵白石駅を通過

富士電機 川崎工場(白石工場) 1999開業等 約4.4ha

- 白石工場は、世界でも最新鋭のタービン・発電機専用工場
- 火力・水力・原子力発電関連設備を生産、製品の8~9割はアジアを中心に輸出
- 地熱用蒸気タービン発電機の製造・納入は世界トップクラスのシェア
- 低温の地熱を利用したハイブリッド発電機も製造
- 白石工場用地を旧日本鋼管より取得
- 大型貨物の搬出入を行う岸壁を有す
- 田辺新田側からの製品移動のため、夜間に旧貨物線陸橋を上げることがある
- 市内小学校で若手社員が理科教室を開催(2022.1)
- 川崎市の産業エリアのカーボンニュートラルを目指す世界的プロジェクトへの参画に賛同、協力を表明(2023.01)

日本鋼造 本社・川崎工場 1920開業等 約7.0ha

- 設計から製品の組立にいたる製造部品の一貫生産体制を確立した総合プラント
- 月200~250tの鋳物製品を生産
- 同じ敷地内に技術研究所があり、検査部門では最新のシャビー衝撃試験機や硬さ試験機、引張試験機を導入し、品質保証体制を強化
- NC横中ぐり盤を夜間完全無人操業化(2019.6)
- ストリートファニチャー等の景観鋳物の製造から撤退(2020)
- 創立100周年を記念して、ゼロ熱膨張材料「LEX-ZERO」を用いた3Dプリンター製の浅野総一郎(同社創立者)像を、福田市長に寄贈(2020.8)
- 3Dプリンターによる急速凝固反応を活用して金属組織を均一化することにより、コバルトフリーの極低熱膨張合金「LEX-3DP」を開発し、国内特許を取得(2020.9)
- 工場の電力をCO2排出量ゼロの再エネ由来の非化石証書を使用したものに切替(2021.7)
- 新しい免震ゴム支承「高性能型高減衰ゴム支承(HDRex®)」の開発(2022.04)
- 一般財団法人 首都高速道路技術センターより優秀業務表彰を受賞(2022.08)
- 自動押し湯切断ロボットの実機化(2022.08)
- ISO14064-1の認証を取得(2022.12)

紀文フレッシュシステム 川崎センター 1912.3開業等

- 食品物流倉庫、365日24時間操業
- 延床面積9103㎡、2階建(ライ倉庫エリア2505㎡、チルド倉庫エリア4893㎡、冷凍庫446㎡)
- 無線LANを活用したハンディターミナルによる管理システムを導入
- 紀文グループの他、グループ外の食品等も取扱

ネオス 川崎工場 1978.12開業等

- 半導体関連精密洗浄・研磨
- 大型処理対応の洗浄槽クリーンエリアを保有

ダイエー川崎プロセスセンター 1997.4開業等 約4.6ha

- 既存棟と増築棟から構成された物流センター(延床面積42,743.29㎡)
- 既存棟は5階建(倉庫スペースは4層)の低温物流倉庫であり、3、4階を主に流通加工(仕分け・包装・直付け・加工・製造)のプロセスセンターとして利用。1階の南北面と2階の北面にトラックハースを設置
- 増築棟は3温度帯(ドライ、チルド、フローズン)の低温物流倉庫で、市内では希少

日本ダスト NDK資源化リサイクル白石工場

- 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、がれき類等の産業廃棄物を、破碎・分離、圧縮・梱包する中間処理施設

日本硝子跡地

産業廃棄物関連事業者(マルモ、カナト京浜、日興サービス)が立地

三菱化工機 本社・川崎製作所 1935開業等 約5.0ha

- 化学機械専門メーカー(プラント分野、環境分野、機械分野)で、主力製品である油清浄機(SJ)は、船舶用では世界でトップシェア
- 小型オンサイト設置型水素製造装置「HyGeia-A」を生産
- 水素製造から燃料電池自動車(FCV)への充填まで一貫して行える実証用水素ステーション(MKK川崎水素ステーション)設置(2017.10)
- 吸蔵合金水素圧縮機の実証機の開発、試験運転に成功(2020.11)
- 都市型藻類バイオマスの培養試験を開始(2021.1)
- リットルスケールに本社事務所開設及び本社機能移転を発表(2021.11)
- 東京ガス(株)が供給するカーボンニュートラル都市ガスを2022年2月1日から導入。川崎市湾岸エリアでは初(2022.1)
- 参画する「バイオDX産学共創コンソーシアム」が、JSTによる産学連携プログラム「共創の場形成支援プログラム」として採択。本プログラムに用いる装置を新たに設置(2022.2)
- 藻類を活用した新産業企業連携型プロジェクト「MATSUMI(まつり)」に法人パートナーとして参画(2022.05)
- 国内初となる廃プラスチックのガス化及びメタノール化実証事業を開始(2022.08)
- 地産地消型水素ステーションをリニューアル(2022.08)
- 水素充填研究設備「福島水素充填技術研究センター」が完成(2022.12)

白石町緑地 (面積:約2,000㎡)※管理者:港湾局

三和倉庫 川崎事業所 1975.12開業等

- 危険品倉庫、普通品倉庫を配備、危険品立体自動倉庫は国内最大級
- 危険物自動ラック倉庫を新設(2018.7竣工)

レゾナック 川崎事業所 約11.2ha

- VGCF(リチウムイオン電池材料)、カーボンナノチューブ、アルゴン、シウブレン(合成ゴム)を製造(年産能力23,000t)
- LEDや断熱パネルや炭酸ガス等の技術を横断的に活用した事業として、植物工場を運営
- 2020.4に完全子会社化した日立化成の社名を「昭和電工マテリアルズ」に変更(2020.10)
- 昭和電工と昭和電工マテリアルズが統合し、社名をレゾナックに変更(2023.01)

日崎工業 1967.7開業等

- 各種意匠金属、特注加工品、インテリアプラント「マルセンス」の製作等
- 川崎市内で初めて「再エネ100宣言 RE Action協議会」に加入(2020.10)
- 令和2年度かながわ地球環境賞受賞(2021.3)
- 「かわさきSDGsパートナー」(2021.5)「かわさきSDGsゴールドパートナー」認証(2021.11)
- 第10回スマートライフスタイル大賞2021にて、「町工場が挑戦する炭素素への取り組み」で奨励賞(2021.11)
- 「かながわ女性の活躍応援パートナー」登録(2021.6)「かながわ健康企業宣言証」取得(2021.10)「かながわ治療と仕事の両立推進企業」ゴールド企業認定、「かわさき☆えるぼし」認証(2022.1)
- アウトドアグッズKumpelシリーズが「低CO2川崎ブランド22」に認定(2022.11)

キルト工芸 1932.7開業等

- 家具全般、鉄道車両用シート、航空機用部材の製造・販売等
- カワシに椅子を納入(2020.9)

大原商店 1932.12開業等

- 菓子等の製造卸売業、浅田に直営店「菓子工房おほら」を営業

シソー 1930.5開業等

- ビル・マンション等のリニューアル事業
- 石油・化学プラントタンク、橋梁等の塗装・メンテナンス
- 「えるぼし」事業継続力強化計画の認定(2022.04)

川崎建鉄 1956.9開業等

- 一般スチール建具等の製造販売

日本新聞インキ 1945.2開業等

- 新聞インキ専業メーカー、業界トップクラスのシェア

東洋ロサイ 1961.10開業等

- 工業炉の設計・施工・メンテナンス、再生木材やリサイクルブロック等の資源を有効利用する循環型素材の製造

大川町産業振興連絡協議会 1989.4開業等

- 2協同組合及び2団体で構成(全63社)
- 大川企業会:立地企業32社で構成
- 大川町工業団地協同組合:立地企業16社で構成
- 大川会:昭和電工、三菱化工機、日清製粉の3社で構成
- 協同組合川崎卸センター:立地企業10社で構成

大川町工業団地 1986開業等 約17.1ha

- 事業主体 川崎市

飲食施設 美遊JAPAN

- 営業時間 平日8:00~17:00(ランチタイム11:30~13:30)
- 2009.11オープン イートインスペース30席
- 弁当、ドリンクの販売、周辺企業にデリバリーを行う
- 入居する大川町産業会館は、テレビドラマのロケ地にも使われる

日の出製作所 1960.9開業等

- 金属部品の加工、組立
- 社員の4割を女性が占め、「平成24年度関東地域における作成人材戦略ベストプラクティス集」(関東経済産業局)に掲載
- 2名が川崎マスターに認定
- 総削り出しハターがふるさと納税返礼品に登録
- 「かわさき☆えるぼし」認証(2022.12)

タイン川崎事業所 1967.1開業等

- 電気タール蒸し器や食品温倉庫等業務用サービス機器の製造、販売

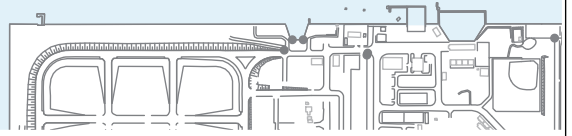
大川町緑地 全面積約1.5ha

- 除草年3回実施 ※管理者:港湾局

日清製粉 鶴見工場 1988開業等 約10.6ha

- 小麦粉、フスマ、家庭用小袋の生産(製粉)トップ
- 国内で生産される小麦粉の約1割を鶴見工場で生産、東北・関東を中心に日本全国に出荷

京浜運河(幅600~700m)



※ 下線を付した企業は、「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」の賛同者